

Nagoya Noh Theater
May 2017

平成29年

5月21日(日)

13:30開演 (13:00開場)

◆二十周年記念対談があります◆

前売券発売3月17日(金)

能

シテ 久田 勘鷗
大獅子

「石橋」(観世流)

狂言

シテ 野村又三郎
「松囃子」(和泉流)

舞囃子

シテ 衣斐 愛
「養老」(宝生流)

名古屋能楽堂 20周年記念

【能楽師が20周年におくる能・狂言20番】

開館二十周年を祝う演目として「石橋」を選びました。見所であると言われる後場の獅子の動きは、わかりやすい激しさではなく、能特有のおさえた演技の中で表現される強さです。また、前場で描かれる雄大な石橋の情景も本曲の眼目です。「雲より落ちて数千丈」の滝にかかる石橋が殊殊の浄土へと続く光景…悟りを開いた者だけが見ることのできる、この世ならぬ景色は、演者の演技と観客の皆様の想像力によって出現するものなのです。

【久田勘鷗 観世流シテ方】

新作能面を披露します

本公演の能「石橋 大獅子」では、平成28年度に実施した名古屋能楽堂二十周年記念「新作能面募集」において最優秀賞を受賞した能面を使用します。

ご来場の方に抽選で素敵なプレゼント!

本公演にご来場の方の中から抽選で20名様に能楽グッズをプレゼントします。

※ご入場の際にお配りするパンフレットに応募券[ご応募の締切は休憩終了まで]が入っておりますのでご確認ください。

名古屋能楽堂二十周年記念 五月開館記念特別公演



写真提供: 久田勘鷗



写真提供: 久田勘鷗

主催



名古屋市文化振興事業団 [名古屋能楽堂]

公益社団法人 能楽協会 名古屋支部



◇二十周年記念対談(午後時半~一時)
泉 嘉夫 河村総一郎 佐藤友彦
高安勝久(司会、解説) 林 和利

舞囃子 養老(宝生流)

シテ 衣斐 愛
箆 大野 誠
小鼓 後藤嘉津幸
大鼓 河村総一郎
太鼓 鬼頭義命
佐藤耕司
衣斐正宜
石森智幸

狂言 松囃子(和泉流)

シテ 万歳太郎
アト 野村又三郎
アト 野口隆行
兄弟 奥津健太郎

仕舞 賀茂(観世流)

休憩十分

シテ 久田三津子
箆 後藤孝一郎
小鼓 河村総一郎
大鼓 加藤洋輝
太鼓 佐藤友彦
後見 野村信朗
伴野俊彦
松田高義
藤波徹
伊藤泰

仕舞 八島(宝生流)

シテ

シテ 玉井博祐
地謡 衣斐 愛
竹内澄子
松浦祥子

仕舞 飛鳥川(喜多流)

シテ

長田 駿
伊藤 英毅
長田 郷
松井俊介

仕舞 笠之段(金剛流)

シテ

伊藤 雅子
田中 春奈
熊谷真知子
羽多野良子
大川磨美

仕舞 船弁慶(金春流)

シテ

鬼頭 尚久
前田 登
本田由布樹
小島芳樹
小野瀬莊樹

能 石橋(観世流)

休憩十分

前シテ 童子
後シテ 白獅子
ツレ 赤獅子
ワキ 寂昭法師
アイ 仙人
イ 仙人
イ 仙人
久田勘鷗
久保信一朗
飯富雅介
井上松次郎
鹿島俊裕
今枝郁雄
藤田六郎兵衛
船戸昭弘
河村眞之介
加藤洋輝
村井邦子
前野郁子
久田三津子
松山幸親
清沢一政
祖父江修一
山中雅志

地謡

伊藤裕貴
吉沢 旭
八神孝充
本田 勲

〔日本語字幕付き〕解説シート(日本語/英語)配布
この公演のイヤホンガイドはございません。
都合により出演者が変更となる場合がございます。
あらかじめご了承ください。

◇狂言解説「松囃子」(まつばやし)

毎年門付けの祝いを舞に来るはずの万歳太郎が、今年を訪れないと待ち侘びる兄弟。一方万歳太郎は例年未だ兄弟から届くはずの年取り物(正月を迎えるにあたり準備する飾り物や食品)がまだ届いていない事を疑念に持ちつつ出掛け、何かお忘れではないかと松囃子の舞に乗じて、やんわりと催促する事に...
「門付け」松囃子とは、芸人が正月に扇屋筋の家々を訪問して、萬歳や猿楽などの音曲を目出度く祝福して演奏した中世の芸能で、当時の風習を感じることのできる演目です。本曲は和泉流のみに残る演目であり、失念した謝礼を思い出させようと苦心する作品として、類曲に「無布施経(ふせないぎょう)」があります。(井上 菊次郎)

◇能解説「石橋」(しやつきょう)

大江定基が出家して、宋に渡り、清涼山に来て「石橋」を渡るうと思つていて、一人の童子が出てきて、この橋は容易に渡ることのできるものではないと、彼を諷めた。また橋のことをくわしく語り、向いは文珠の浄土で、やがて奇特な情景が展開されるであらう、といつて立ち去った。やがて仙人達が、「三人で楽しい会話をしたあと、突如として勇壮な獅子の舞が展開される。」
〔残り留め〕簡潔なフナレの詩句は、速度を維持したまま結句に至り、太鼓・大小の鼓・笛を残して終了する。この留め方を「残り留め」と云う。
以上はこの能の基本演出である。

〔小書〕今回の演能は、大獅子の小書による演出である。小書とは、基本演出に対して変型、拡大演出をいう。大獅子の場合は、前シテが尉老人(童子の場合もあり、それぞれに風情がある)となる。後半は白頭(シテ)と赤頭(ツレ)の二人による獅子の舞。これを親子の獅子と見ることが可能(基本演出では赤頭の獅子一人のみ)。
〔獅子の舞の型について〕獅子舞の中で、片膝をついて下に居て頭を左右に振り、そり返りサツと伏せ、力強く上体をもどす、という型がある。このことについて「謡曲大観」の石橋の章には以下のように記されている。
一種であるが、爾來神社仏閣ではばはは演ぜられ、鎌倉時代以降、民間演芸の流行するにつれ、この方面にも採り入れられ、室町初期、猿楽や田楽に演じていたことは、世王六十以後申楽談義に、「獅子舞は河内の覆立(猿楽)に徳壽とあり、神交獅子也。増阿(田楽)稚兒にて鹿苑院(義満)の御前にて舞ひし、面白かりし也。」とある。
謡曲大観は佐成謙太郎著、昭和十桁の時代に刊行された大著で、私宅では勿論、私の父の蔵書であったが、空襲で焼失、戦後になって昭和十九年、明治書院から復刻刊行されたのであった。
〔石橋〕豪壮な獅子の舞が眼目。このため詞章は簡潔すぎる部分もある。しかし「クセ」は乱曲のようにに語つものといわれる。シテをはじめ、舞台上の全員に大きな技量が要求される大能である。(泉 嘉夫)

五月記念特別公演事前学習講座
5月6日(土) 14:00~16:00

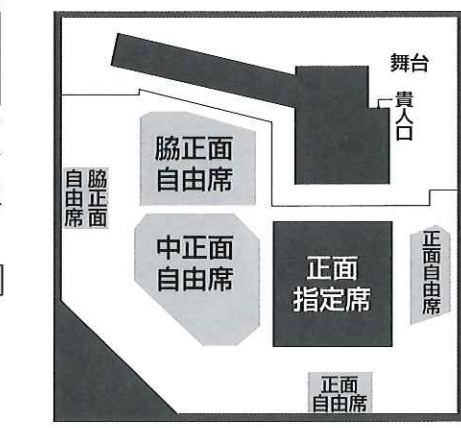
[受講チケット] 五月記念特別公演とのセット券600円、一般券1,000円 ほか
◆能「石橋」のあらすじ、見どころを解説します。詳細は事前学習講座チラシをご覧ください。

チケット料金(税込)	*前売券発売日 平成29年3月17日(金)		
	指定 Reserved	自由 Non reserved plus ¥500, on the day	
		一般 Adult	学生 Student under 25 years old
前売 Advance sale	6,000円	5,000円	3,000円

*当日券は自由席のみ500円増となります。
*事業団友の会会員・障がい者手帳をお持ちの方は1割引(名古屋能楽堂・名古屋市文化振興事業団チケットガイド・事業団施設窓口の前売のみ)
*上演中の写真撮影・ビデオ撮影・録音は、事前に許可を受けた方以外はご遠慮下さい。*未就学児のご入場はお断りいたします。

前売券取扱所 Ticket Office

名古屋能楽堂 / TEL.052-231-0088
名古屋市文化振興事業団チケットガイド / TEL.052-249-9387
(平日9:00~17:00 / チケット郵送可)
*名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設窓口<土日祝日も営業>でもお求めいただけます。
中京テレビ事業 / TEL.052-957-3333
栄プレチケ92 / TEL.052-953-0777
チケットぴあ / TEL.0570-02-9999 (Pコード 457-298)
*お近くのセブンイレブン、サークルKサンクスでもお買い求めいただけます。
*外国籍が証明できるパスポート等を持参された方には前売・当日とも1割引致します。(名古屋能楽堂取扱のみ)
To visitors who bring their passports or the likes which prove respective foreign nationalities, advance/day tickets are available at a 10% discount. (at Nagoya Noh Theater only)
●日本語字幕付き。解説シート(日本語/英語)を配布いたします。この公演にはイヤホンガイドはございません。また、字幕用パネルは舞台向かって右側の貴人口前に設置いたします。字幕が見えにくいお席もございますので、あらかじめご承知おきください。Japanese subtitles ; Japanese / English explanation sheets available.



*地下鉄・市バス等公共交通機関をご利用ください。
ワクワク・ドキドキ特典がいっぱい
「友の会」会員募集中!
公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 TEL.052-249-9385